

質問者	質問方式	質問概要
林 (新風会・公明党)	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市における地域再生の取り組みについて</p> <p>国は東京一極集中の是正による若い世代の地方での定着に向けて、「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」の策定作業を行っている。本年6月に閣議決定された基本方針では、新たな視点として「関係人口」や「ソサエティ5.0」といった重点項目が示され、令和2年度概算要求では、内閣府が地方創生推進交付金の増額要求を、総務省においては関係人口の創出拡大やマイナンバーカードを活用した消費活性化策、地域課題の解決に資するローカル5Gの実現に向けた開発実証などを掲げている。</p> <p>市では、第五次大野市総合計画後期基本計画や大野市総合戦略に基づき、水への恩返しキャリングウォータープロジェクトや大野へかえろうといった息の長い人口減少対策のほか、結の故郷奨学金、はたらく若者応援、すこやか・ゆめみらい応援といった個人給付と消費活性化策、ゆいびとファンクラブやふるさと納税、地域おこし協力隊、越前おおのみずコトアカデミーといった市外とのつながり強化に向けた取り組みを行ってきた。石山市政となり、一部見直す方針を示しているが、市のあるべき姿はどのように考え、その実現に向けて施策をどう検討されているのか質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過去5年間の取り組み期間における人口と地価の推移、各施策の成果と課題、見直しの状況について伺う。 ○ 大野市における関係人口の定義、位置付と施策の方向性について伺う。 ○ ソサエティ5.0時代の地域社会をより豊かなものにするため、通信事業者以外の事業者や自治体が自ら5Gシステムを構築することができる「ローカル5G」を導入する若しくは導入を支援する予定があるか伺う。 ○ 最大のチャンスと捉えている中部縦貫自動車道が県内全線開通した際の大野市のカたち、あるべき姿をどう描いているのか伺う。

質問者	質問方式	質問概要
永田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 第六次大野市総合計画における市民、中高生へのアンケート等について</p> <p>大野市の最上位計画である第六次大野市総合計画策定の参考となるアンケート調査や地域ごとの声を聴くワークショップの実施は大切と思うが、意見の聴取と集計に当たって、地元地域で拝見した結果からは、参加者も少なく目的と手段が一致してない観がある。一方、市民、中高生アンケート調査は有効な手段と思われる。</p> <p>特に高校生においては、公職選挙法改正から3年が経過した中でもあり、最も大切なことと期待するところである。しかし、平素より、高校生は地域や市関係行事等への参加がほとんどない状況にあることも事実である。勉学に支障のない範囲で、積極的に働き掛けを行う必要があると思われるが、ご所見を伺う。</p>
		<p>2 大野市文化会館の整備と乾側小学校の耐震方法について</p> <p>1 文化会館の整備について 駅東公園を含めて整備基本方針が示され、議会の議決によって13節の委託料が執行されない状況が5カ月以上続き、理事者、議会、市民の信頼関係を損ねかねない状況である。総務文教常任委員会で審議中のことであるが、市民からの要望等も含めて現状を伺う。</p> <p>2 乾側小学校の耐震方法について 昭和56年（41年経過）以前の木造建築物で、耐震性に欠けており、児童、教諭の安全を最優先に、これから冬期間の耐震強度が懸念されることから、旧蕨生小学校への通学で対応し、今後は簡易校舎を建設することとしているが、建設の工程や構造等を伺う。</p>
		<p>3 有害鳥獣や豚コレラ対策について</p> <p>1 有害鳥獣対策について カラス、シカ、イノシシ、サル等による被害が拡大し、クマの出没が懸念される中、爆竹等爆音による追い払いが見受けられる。国ではICTの活用やGPS発信機の装着による「スマート捕獲」や追い払いも推進しているが、取り組みについて伺う。</p> <p>また、10月に「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」が大野市で開催されることで大いに期待するところである。</p> <p>2 豚コレラ対策について 大野市管内の豚舎とブタの頭数について。また感染したブタやイノシシはどのように処理されるのか伺う。</p> <p>また、国や県と感染の拡大防止や防疫等の連携と処置状況について伺う。</p>

質問者	質問方式	質問概要
ダニエル（無会派）	一問一答方式	<p>1 大野市の教育の最終責任者は、市長と教育長のどちらか</p> <p>6月の一般質問の理事者側からの回答を受けて気になったことが一つある。大野市の教育の最終責任者は市長と教育長のどちらなのか、分かりにくかったことである。現在は教育長が実質市の教育行政を監督しているように受け取られるが、総合教育会議の座長でもあり、なおかつ予算の執行権を持つ市長は教育行政においてどういう位置付けになるのか。民主的に選挙で選ばれた市長が、他の政策同様、教育政策の最終責任者となるのが自然だと考えるが、教育政策の最終責任者が誰なのか現段階では分かりにくいので、はっきりさせた方が良いと考える。</p> <p>2 市長の退職金が1,820万円というのは、いつ決まった額なのか</p> <p>10月から消費税の増税が決まっているが、恐らく日本政府も財政が厳しいということで、増税を決断したと思う。国はもとより大野市の財政が厳しい中、首長が4年の任期が切れるごとに1,820万円もらえるのは、市民感覚から大きくかけ離れていると考えられる。そこで、この市長の退職金の額は一体いつ、どういった根拠で算出されたものなのか確認したい。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松田（未来おおの）	一問一答方式	<p>1 第六次大野市総合計画の策定について</p> <p>過疎地域に指定されて、さらに人口減少が加速していくことが市民にも実感され、生活の中でも将来への不安が現実のものとなってきている中、地域が持続できるのかどうかこれからの10年、市民（住民）の満足をどのように高めていくのか、財政の厳しくなる中、地域社会の状況分析、地域特性や課題、住民の状況を的確に把握して、それを向上させる目標を協働の中で設定していくことが求められる。同時に大野市の存亡に関わる最重要計画と認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画策定に当たり、市長はどのような理念と方針で取り組まれるのか。 ○ 第五次大野市総合計画のさまざまな検証と課題について、組織内で検討し共有されていると思うが、再三の議会からの要請に対して「検討中である」との返答である。以下の2項目についての「評価と課題」について質問する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 ブランド戦略（越前おおの総ブランド化）の魅力度とふれあい交流人口について 2 現在の総合計画の体系（基本構想と基本計画の関連性）とK P I（成果指標）の適格性について ○ 現在進行形の地区別ワークショップの現状と課題についてどのように考えているのか。 ○ 第六次大野市総合計画策定のための「幹事会」の組織の役割と、ここで何を期待するのか。
		<p>2 乾側小学校の耐震工事について</p> <p>現校舎がとても危険な状態であり、この冬には危なくて学校生活をする事ができないことを知らされて、保護者はもちろん地区の皆さんも驚き、大きな不安になったと認識している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ蕨生小学校に行かなければならなくなったのか。また、乾側小学校の児童とその家族に大きな負担が強られることをどのように考えるか。 ○ 乾側小学校の耐震工事計画と学校再編計画との関連性はどのように理解すればよいのか。 ○ 現校舎の耐震工事なのか、新校舎建設（軽量鉄骨仕様）なのかについて、今後どのように進めていくのか。

質問者	質問方式	質問概要
木戸屋（未来おのおの）	一問一答方式	<p>1 本市の財政運営の今後の見通しについて</p> <p>現在、市は令和3年度から10年間の市政の最高位の計画である「第六次大野市総合計画」の策定に取り組んでいる。その中心観点として、SDGs（持続可能な開発目標）を提唱している。</p> <p>持続可能な市政を行うためには、財政的な基盤が不可欠である。現在公表されているデータを見ると、本市の財政状況を判断する指標等について、幾つかの不安要素がある。</p> <p>現在、「重点道の駅」「産業団地」と大規模プロジェクト工事が進み、今後「文化会館」の建設も計画されている。また、市庁舎建設に関しての大きな債務返済や下水道事業の債務返済の増加も予想される。そこで、次の点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後、約10年間の本市の財政状況（特別会計も含む）の見通しを、どのように考察しているのか。 2 特に、債務の償還額のピークはいつになり、金額はどのくらいになるのか。
		<p>2 学校再編計画の見直し（意見交換会）について</p> <p>教育委員会では、学校再編計画の見直しに向けて「教育環境に関する意見交換会」を実施している。全小中学校保護者対象と教職員対象の意見交換会が終わり、保育園や認定こども園等の保護者を対象にした意見交換会が始まっている。</p> <p>ホームページで公開されている意見交換会での質問・意見や答弁の内容に関して、次の点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまで出された市民からの意見を読むと、小学校の再編と中学校の再編の考え方について、市民の意見の傾向が違っていると感じるが、その点について現時点でどのように分析しているのか。 2 答弁でもあったが、現在行われている少人数の学級や学校の教育について、どのような考えを持っておられるのか。

質問者	質問方式	質問概要
松本（新風会・公明党）	一問一答方式	<p>1 精神障がい者の雇用について</p> <hr/> <p>○ 精神障がい者の雇用について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神障がい者の就労状況はどのようになっているのか。 2 精神障がい者の就労環境についてどのような考え方を持っているのか。 3 精神障がい者への就労支援をするための施策をどのようにしていくのか。 <hr/> <p>2 ダブルケア及びヤングケアラーの現状と支援策について</p> <hr/> <p>○ ダブルケア（介護と子育ての両立）及びヤングケアラー（若年介護者）の現状と支援策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大野市での各々の実態を把握しているのか。 2 それらの実態について、どのような考え方を持っているのか。 3 それらの支援策として、どのようなものがあるのか。

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 (日本共産党大野市議団)</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>1 大野市文化会館について</p> <p>2 和泉地区における(仮称)和泉地域ふれあい交流センターの住民説明会について</p> <p>3 「小中学校の再編」について</p> <p>4 「乾側小学校校舎の安全対策」について</p> <p>2 「第六次大野市総合計画の策定」について</p> <hr/> <p>○ 平成30年9月定例会市議会で、市長は計画に掲げた94指標のうち27指標で目標を達成しているが、十分とは言えない状況である。残る計画期間に、構想実現のための柱と、私の公約「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり五つの方法」との調整を図りながら、施策を着実に推進していくことにより、後期基本計画の進捗(しんちよく)を図っていきたい。</p> <p>平成30年度の取り組み状況報告(実績)では、94指標のうち32指標で目標が達成できたとのこと。この成果の評価とともに未達成部分の実態を知らせることも大切ではないか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一問一答方式	<p>1 消費税増税に伴う幼児教育・保育無償化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 0歳児から2歳児への助成をするべきではないか。 ○ 幼児教育・保育無償化に伴い副食費も無償にするべきではないか。 ○ 実費徴収による保育所等の事務負担は増えないのか。
		<p>2 大型事業を見直して暮らしに支援を</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの医療費窓口完全無料化及び高校生の医療費を無料化にできないか。 ○ 国民健康保険税の引き下げ、人数割・資産割を廃止にすべきではないか。 ○ 妊産婦の医療費に助成を行なうべきではないか。 ○ 結の故郷ゆめみらい支援事業・すこやか家族応援事業を継続するべきではないか。
		<p>3 住民主権の市政とは</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 市政の住民への周知徹底は、十分な説明から始まる。それが、住民主権の第一歩であると考えているが、いかがか。

質問者	質問方式	質問概要
<p>廣瀬 (新風会・公明党)</p>	<p>一問一答方式</p>	<p>1 来年度の学校関係の予算編成について</p> <hr/> <p>○ 来年度の教育関係の予算、特に学校関係のハード面・ソフト面に対する予算を編成していくに当たり、学校ごとの状況や要望を聞き取る場の設定はあるのか。</p> <p>○ 今の時点で、来年度の学校関係の予算編成をする上で、重要と考えているのは何か。</p> <p>2 会計年度任用職員制度の導入について</p> <hr/> <p>○ 今回の制度の導入により、位置付けが変わる職員の数は何人か。</p> <p>○ 現行での位置付けから、どのような位置付けに変わるのか。</p> <p>○ 来年4月の施行に向けた今後のスケジュールは、どうなっているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
伊東（新風会・公明党）	一問一答方式	<p>1 共助による自主防災力向上について</p> <p>○ 当市におかれては、地域住民による自主防災組織を各地区に配置しているが、高齢化が進んでいる地域では、日中に災害が起きた場合、リーダーとなるべき人がいない、というのが現状である。自主防災組織が「絵に描いた餅」で終わらないよう、住民一人一人が防災をわが事と捉え、地域の防災力向上に取り組んでいくことが重要であると考えている。そこで、2点質問する。</p> <p>1 現在、大野市には何人の防災士がいるのか。また今後、市民の防災力を高めていくために、防災士の資格取得を進めていく予定はあるのか。</p> <p>2 避難支援プランに登録した人の避難について、自主避難が難しい名簿登載者の人数や避難所へ誘導していくまでの流れは、どうなっているのか。</p>
		<p>2 東京五輪・パラリンピックを契機とした障がい者との地域共生社会の構築について</p> <p>○ 2020年の東京五輪・パラリンピック開幕まであと1年。特にパラリンピックにおいては、障がい者スポーツの普及を進めるのと同時に、社会にバリアフリー、多様性という価値観を根付かせるチャンスだと思っている。障がいの有無に関係なく互いに尊重し合って暮らす「共生社会」定着の促進剤となるよう願っている。そこで、2点質問する。</p> <p>1 来秋の東京五輪・パラリンピックの開催に合わせ、障がいの有無にかかわらず、同じフィールドでボッチャや車いすバスケットボールなどを共に楽しむ行事を当市でも開催してみてもどうか。</p> <p>2 高齢化社会に伴い、必然的に車いす利用者も増加していくため、この機会に施設のバリアフリー化を進めていくという考えはないか。</p>
		<p>3 引きこもりへの対策について</p> <p>○ 現在、県や市町村でも引きこもり対策を推進するための体制を整備し、引きこもりの状態にある本人や家族等を支援することにより、本人の自立を促進し、福祉の推進を図ることを目的としている。そこで、3点について質問する。</p> <p>1 当市において、単身又は家族と同居しながらさまざまな要因の結果として社会的参加を回避し、おおむね家庭にとどまり続けている（いわゆる引きこもり）状態の方の現況はどのようなものか。</p> <p>2 本人や家族等が抱える悩みについて、相談窓口はあるのか。</p> <p>3 国においても問題解決に力を入れており、厚生労働省では包括的な支援体制の強化に向けた検討を行っている。今後、こういった国の支援を活用して、就職氷河期支援も含めた引きこもり対策を進めてみてはどうか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 人口減少対策や地方創生の施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口減少対策会議の少子化対策部会で、婚活の要素をイベントなどに盛り込み、施策に反映し取り組むとしているが、取り組み状況は。 ○ モンベルの知名度の集客効果を、本市の起爆剤として、チャンスを最大限に生かすための、取り組み進捗（しんちよく）状況は。 ○ 大野市に関心を持ち、たびたび訪れ、関わってくれる「大野ファン」を増やす政策は。 <p>2 「ふるさと納税」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度の件数また納税額は。また前年度と比べた件数・納税額は。 ○ 経費の比率は。またそれぞれの年間の経費額は。 ○ 経費を扱う業者は、大野市内の業者か。 ○ ふるさと納税の寄付金の事業への使い道は。 ○ 使い道の明確化（具体化）が必要だが、見解は。 ○ 今後、寄付者の方とつながりを深める活動についての見解は。 ○ 各大野会・ゆいびとファンクラブの会員数は。またふるさと納税の寄付の人数は。 ○ ふるさと納税を活用したクラウドファンディングについて <ol style="list-style-type: none"> 1 ガバメントクラウドファンディングについての見解は。 2 「ふるさと納税を活用したクラウドファンディング」が行われているのか。 3 今後事業を検討していく上で、最初にガバメントクラウドファンディング（GCF）を実施できないか検討しては。

質問者	質問方式	質問概要
白 崎 (新 風 会 ・ 公 明 党)	一 問 一 答 方 式	<p>1 区長・行政連絡事務嘱託員の職務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区長・行政連絡事務嘱託員に依頼する職務は、年間にどのようなものがあるのか。 ○ それぞれの職務について、どのような形式で区長・行政連絡事務嘱託員に連絡・通知しているのか。 ○ 区長・行政連絡事務嘱託員の職務について、庁内で取りまとめている部署はあるのか。
		<p>2 豚コレラ及び鳥獣害処理施設の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豚コレラの発生経過及び発生に伴う大野市での対応・対策はどのように取っているのか。また、国や県とどのように連携を図っているのか。 ○ 木本にある鳥獣害処理施設について、実験期間から本格稼働に至るまでの経過及び地元への説明状況は、どのようにしてきたか。 ○ 鳥獣害処理施設での鳥獣害処理工程は、どのようになっているのか。 ○ 豚コレラ発生後、鳥獣害処理施設での処理頭数に変化はあるのか。
		<p>3 人手不足への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市内の有効求人倍率は高く推移しているが、特に深刻な業種は把握しているのか。 ○ 大野市として、この人手不足の現状をどのように考えているのか。 ○ 働き方改革による有給休暇取得義務と人手不足が相まって、経営陣への負担が多くのかかっている状況である。自治体は無料の職業紹介事業が実施できるが、この危機的な状況の中、今後、取り組めないか。

質問者	質問方式	質問概要
高岡 (双葉会)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 市長が就任以来提唱されているSDGsだが、当市の計画、事務事業はどのようなのか。その進捗(しんちよく)状況はどうか。また今後の推進施策はどのようなのか。その考えを尋ねる。</p> <p>○ 市長が考える市民と共に考え、市民と協働でのまちづくりに関して現在進行中の事業進捗はどうか。また管内商工業の活性化をどのように考えているのか尋ねる。</p>